

働く介護者

約240万人

介護離職は
他人事では
ありません

介護離職
10.1万人/年間

介護離職をなくそう

あなたの職場に、家族を介護しながら働く人はいませんか？ あなた自身に今後、家族の介護が必要になる可能性はありませんか？ 介護と仕事の問題、介護離職は他人事ではありません。国民全体の関心と取り組みが必要です。

少しでも、現実的な対策を実現するために、みんなで声をあげていきましょう。

お寄せいただきましたご意見等は、政策提言活動(院内集会、予算概算要求に向けての要望書など；詳細はホームページでご案内)に盛り込ませていただきます。

その介護離職、
おまちなさい



樋口恵子 代表

あなたの声を聞かせてください

FAX. 03-5368-1956

FAX またはホームページで受け付けています <http://www.kaigorishokunonaishakai.org/questionary>



- Q1 あなたは**仕事**を、 している していない 介護離職した
- Q2 あなたは**介護**を、 現在している かつてしていた 近い将来するだろう 現在もこれからもしない
- ⇒ 主に介護を担っているのは、 自分 配偶者
 親 子ども その他 []
- Q3 **仕事**と**介護**について、 困っている 困っていない
 これからが不安 特に不安はない
- Q4 「困っている」「これからが不安」とお答えになった方は、困っていることや不安に思っていることを教えてください。

- Q5 どんな対策や政策、サービス・支援があれば、**仕事**と**介護**がうまくいくと思いますか。
また、特に対応してほしいのは、 行政 企業 労働組合 地域 その他

あなたのご意見をホームページや政策提案資料へ掲載してもよいですか？ はい いいえ

都道府県： _____ 年齢： _____ 性別： _____ 職業：会社員（正規）・会社員（非正規）・自営業・学生・無職

* 第一次締切：3/31、第二次締切 6/30

介護離職のない社会をめざす会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-10 橋場コーポ 305

介護離職をなくすために

介護離職のない社会をめざす会では、厚生労働省に以下の対策を要求しています（平成30年度予算概算要求へ向けての要望書）。

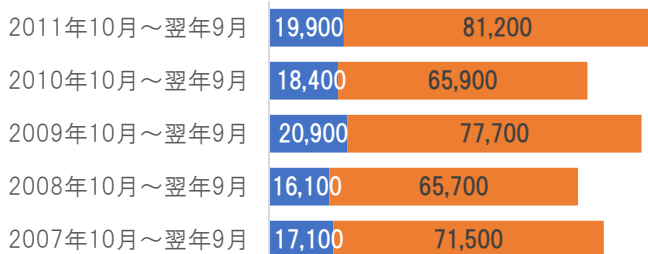
1. 持続可能な社会保障改革の推進
2. ワーク・ライフ・バランス社会の早期実現
3. 介護人材の確保策の拡充
4. 「地域包括ケアシステム」の構築に向けた医療・介護の機能と連携の強化

今、対策が必要です

介護を理由に離職した人は、年間10万人以上
今後も増えることが予想されます

平成24年就業構造基本調査(総務省)

■男性 ■女性

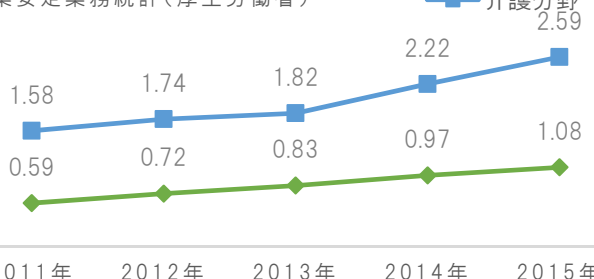


介護分野の有効求人倍率は全産業の2倍以上
人材が不足しています

職業安定業務統計(厚生労働省)

◆全産業

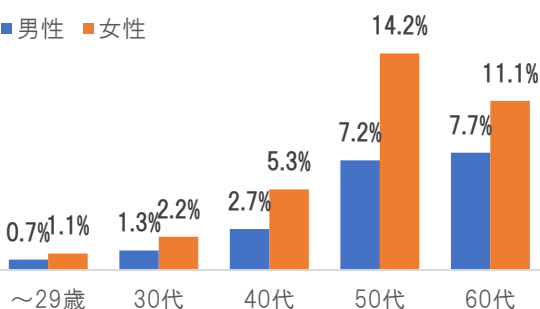
■介護分野



働きながら介護をしている人は、
50代で大きく増えています

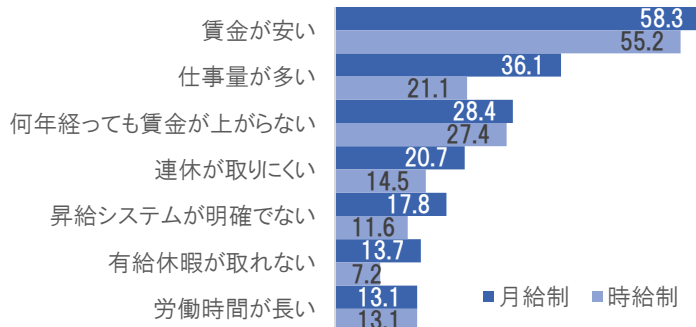
平成24年就業構造基本調査(総務省)

■男性 ■女性



介護人材を増やすには処遇改善が不可欠です
介護職は賃金や休暇などに不満をかかえています

2015就業意識実態調査(UAゼンセン日本介護クラフトユニオン)



介護離職のない社会をめざす会

私たちがめざす社会

- 介護を職業とする人が正当に評価され待遇され、介護職が離職の少ない誇れる仕事になる社会
- 家族の介護のために、自分の選んだ仕事や人生をあきらめないですむ社会
- 仕事と生活とケアが必要に応じて、バランスの取れるような働き方のできる職場が増え、新たな地域づくりにつながる社会
- 人生100年の流れに沿って、いつも集い、助け合える地域の創造に向けて、介護がそのカギとなる社会
- 介護する人が幸せになることで、介護される人も幸せになる社会

私たちの仲間

代表: 高木剛 (連合元会長、全労済協会前理事長)、逢見直人 (連合会長代行)、樋口恵子 (高齢社会をよくする女性の会理事長)、牧野史子 (介護者サポートネットワークセンター・アラジン理事長)

幹事団体: 連合、UAゼンセン、自治労、中央労福協、全労済協会、民介協、市民協、高齢社会をよくする女性の会、wiwiw、男性介護ネット、日本ケアラー連盟、介護者サポートネットワークセンター・アラジン、全国介護者支援団体連合会、介護離職防止対策促進機構